



高島学園

中学校だより 【第13号】

令和5年11月24日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

〇7年目の高島学園コミュニティ・スクール 「どこからでも・どこまででも・どの間でも」

「畑は、もはや庭となりましたね」

高島学園CSの進化！

以前、畑が「Farm Lab（ファーム・ラボ・畑実験室）」になったことをお伝えしましたが、さらに進化を遂げています。

以前に広部木材さんからいただいた木材を使って、生徒がベンチ（右写真）を創りました。作業の合間に腰を掛けて休憩できるようになりました。さらに、横田さんが草置き場（下写真）を設置してくださいました。これも広部木材さんからいただいた木材です。「畑は、もはや庭となりましたね。」は、畑作業を支えてくださる前田さんの言葉です。



知らないうちに学校内にこのような変化が起こっているのです。地域の方が教育の当事者となって、教育課題の解決に向けて取り組みが行われるようになっていきます。コミュニティ・スクールとして目指すところです。

「さつまいも、どうぞ！」と、地域から



おおとり学級の生徒が、朝加さんの畑で芋ほり体験をさせてもらいました。朝加さんは高中の支援に来てくださっている方で、例年芋ほり体験もさせてくださっています。また、先日、町あかり食堂の方が「さつまいも、どうぞ！」と、届けてくださいました。またまた、湖西中学而事人ファームからも「さつまいも、どうぞ！」と。

そこで、おおとり学級が、全校生徒に食べてもらいたいと、地域の方にお手伝い願って、蒸芋を作りました。大量の蒸芋づくりに大忙しでしたが、全校生徒に大盛況。「高中いもパーティ」となりました。

その日、高島学園のコミュニティ・スクールの視察に来られた野洲の方々にも食べていただきました。「こんな学校があるのですね。新しい教育ですね。」と言って、感激しておられました。

高島学園コミュニティ・スクールならではの取り組みで、新時代の教育とも言われています。コミュニティ・スクールには、地域の愛情が詰まっていて、その力でいろんなことができます。学校に多くの温かさや感動が渦巻き、子どもの豊かな心を育てています。



11月後半、今までつけてきた力を発揮するとき！

11月前半も多くのことがありました。8日にはブロック駅伝大会があり、出場生徒たちの最後の最後まであきらめないすごい姿を見ました。また、走り終えた人に手を差し伸べ、声をかける9年生の姿にも感動しました。女子は県大会に出場し、県の大舞台での全力で臨む姿も感動でした。

13日はマイシティの発表会があり、7年生が中心となって立派に学習報告をしました。発表する態度も聞く態度も大変素晴らしく、全員が大変頼もしくなりました。学園運営協議会委員の皆さんも感心されていました。7年生はこれで第2ステージを卒業します。いよいよ第3ステージです。学園のリーダーとなります。



21日、9年生は定期テストでした。7日に特色選抜対策講座もあり、9年生は入試を意識した態度へと変わってきました。成績はテストの結果だけでつくものではありません。授業に臨む態度や生活態度がとても重要です。日常の努力が、自分の進路を確実なものにします。

8年生の生徒ともよく進路について会話をします。

もうすでに自分が進みたい方向を見据えていて、朝読書や学習に対する取り組みの姿勢が変わってきた生徒がいます。8年生のこの時期に進みたい方向について考えることは大切なことです。



合否はあくまでも結果である。

高校入試は、能力を問うテストではなく、本人の努力を見るテストです。
将棋の藤井聡太さんが八冠を達成したのは、将棋への探究心と努力です。高校入試もどれだけ努力したかが、問われるのです。

特色選抜対策講座より

今年、生徒会は「革命」を起こしてくれました。目指す学校に近づくために最後まで取り組みを続けました。自分たちの手で新しい令和の学校を創ろうとする主体的な行動でした。今、その行動を見てきた8年生が新しい生徒会組織を作ろうとしています。先輩を超える学校づくりをしてほしいと思います。

二期の終わりに差し掛かりますが、次への始まりの時期でもあります。今までつけてきた力を発揮する時がきました。

人権学習 ～体験から学ぶ人権学習

(ピンクシャツデー・パラスポーツ・車いす体験)～

高島中学校は、人の気持ちや立場を考えて人と接する生徒が大変多い学校です。友達の状況を見て「持ってあげるわ。」「やっとかわ。」という優しい声かけや行動を日常の中でよく見かけます。家族や地域の温かさの中で、子どもたちが育っていることを実感します。

人権週間で、各学年で人権学習をしているところですが、今年はこの期間に生徒会が中心となり、体験を通して人権学習をすることを呼びかけました。一つはピンクシャツデーです。全校生が一日ピンクのリストバンドをつけて行動しました。もう一つは、障がい者スポーツであるシッティングバレーボールとボッチャの体験です。



これらの体験から、人にはいろんな状況があることを知ったと思います。もしかすると、人には言えない苦しみを感じている人も少なくないかもしれません。体験を通し、どの「人権」も守らなければならないことを学び、学校の課題「いじめ撲滅」につなぎたいという生徒会の強い思いが伝わってきました。

ご家庭においても「人権」について話題にして、考えたことを聞いてやっていただきたいと思います。

